



●年末年始の開館

今年もいよいよあと少し。年越しの準備はお済みですか? 年末年始の図書館は変則的な開館となります。休館日にご注意ください。なお、12月8日貸出分から、長期貸出として返却日が1月6日となります。冬季休業中もどうぞご利用ください。



◆Contents◆

- <トピックス>
 - 年末年始の開館
 - 蔵書リユース市を開催しました
 - コンシェルジュ 熱烈活動中
- <お薦め図書>
 - 『傑作!数学パズル 50』
- <つばやきライム>
 - 図書館から紙の本が消える?



月	火	水	木	金	土	日
12/20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
通常開館 8:30-21:30		土日祝開館 10:00-17:30		休業期開館 9:00-17:00		休館日

●蔵書リユース市を開催しました

秋の恒例行事

図書館で重複や改版等により不要となった図書を安価で提供する、リユース市。今年は約 2400 冊が新しい持ち主のもとへ旅立って行きました。



今年は10月29~31日に開催され、多くの方にご来場いただきました。

●図書館コンシェルジュ、熱烈活動中

学生の学びをサポートする学生



数学に関する質問はこちらへ【2F 閲覧室】



随時質問受け付けてます【2Fカウンター・メディアルーム】



工夫をこらした資料の紹介・展示

これからもぞくぞく。乞うご期待!



<お薦め図書>

『傑作！数学パズル 50：名問・良問の宝庫へようこそ』

小泓正直著（ブルーバックス；B-1694）

ここに1枚の新聞紙があったとしよう。新聞紙の厚さは0.03mmだとする。この新聞1枚を大きく広げて1回、2回と折っていく。縦に折っても良いし、横に折っても良い。たくさん折れば、元の新聞紙の厚さよりも結構厚くなっていくのが分かると思う。では、100回折るとどれくらいの厚さになるだろうか。途中から折るのが大変になるので100回も折れないということがやっていくうちに分かると思うが、仮に折れたらどうなるか考えてみてほしい。100回も折るのだからもともとがペラペラでも20cmくらいいくのでは！？と思う人もいれば、かなり現実的(?)に考えて10cmにも満たないと言う人もいると思う。

しかし現実はそのようなものではない。なんと67億光年にも達するのである(計算方法は本書を見ていただきたい)。67億光年は、およそ地球から冥王星までの距離の1580倍である。宇宙空間そのものよりは短いらしいが、とんでもない距離であることは言うまでもない。

この本では、この例のように直観とかけ離れた問題や、おもしろい“パズル”のような問題と解説が50題掲載されている。本の後半では数学的知識が必要なものも出てくるが、それらを見捨てても十分楽しめる内容になっている。

“数学の本”とは思わずに気軽に読んで楽しんでほしい1冊である。

(コミ)

【408/B94/1694 2F 文庫/新書（現在は新着コーナー）】

この図書は総理工学部2回生の図書館コンシェルジュの推薦です。

<つぶやきライム(10)～図書館職員のメッセージリレー～>

図書館から紙の本が消える？

私は図書館で外国雑誌の購入・受入を担当しています。外国雑誌は言うまでも無く、大学における先端的・専門的な研究に欠かせない資料群です。実はこの外国雑誌、資料費の中で占める割合は最も大きく、総経費は1億円に届く勢いです。外国雑誌の利用環境は、ここ10年で激変しました。インターネットを介した電子ジャーナルが主流となり、紙媒体の雑誌はバックナンバーを残し図書館からほとんど姿を消しました。電子ジャーナルは時間や場所の制約がないといった多くのメリットがある一方、毎年の上昇により、資料費圧迫の要因ともなっています。

日本における電子ブック元年とも言われる2010年。AmazonのKindle、AppleのiPad、Googleブックスなどの動きを追う形で、国内でも続々と電子ブック端末が発表され、様々なビジネスモデルが模索されており、本をめぐる環境もまた大きく変わろうとしています。学術雑誌で起こったような変化が、本の世界でも起きるのでしょうか。米スタンフォード大学では、本のほとんどない図書館がオープンしたとのニュースもありました¹⁾。

皆さんは、島大の図書館から紙の本が消える日が来ると思いますか。今の時点で、将来紙の本がなくなると考える人はほとんどいないでしょう。ただ近い将来、iPadのような携帯端末で、教科書を読んだり図書館で借りた本を参照したりしながら授業を受ける日が来るかもしれません。

いくら利用環境が変化していっても、それをどう使って、何を創造していくかは、皆さん次第です。図書館もこの変化にどう対処していくか模索している最中ですが、皆さんの学習や大学の教育・研究に寄与するという大学図書館の使命を果たすため、皆さんと共に成長していきたいと考えています。

(Y田)

1) <http://current.ndl.go.jp/node/16611>



(ライム博士)

いつの間にか今年も暮れようとしているね。君たちにとって、今年はどうな年だったかな。



(けんさくくん)

勉強に遊びに、すごく充実した一年だったよ。なにより名前をつけてもらって、僕たちにとって記念すべき年になったよね。



(みいなちゃん)

ちょっと待って二人とも。一年のまとめに入るのはまだ早いわ！忘年会に大掃除、それにクリスマスが残ってるじゃない。



(けんさくくん)

確かに！年越しそばまでしっかり楽しまなくちゃね。図書館が休館に入る前に、たくさん本を借りておくのもいいかも。



(ライム博士)

私は今年こそ年賀状を早めに準備したいなあ…。新しい一年を迎えるために、いつも師走は大忙し。みなさんもよいお年を！

